



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

No. 最終号 (文責 永杉尚久)



R5.3.27 桜満開の南関中学校

ありがとう南関中学校 お世話になりました！

このお便りもいよいよ最後になりました。38年間の教員としての生活は長いようで短くもありました。スタートは、旧飽託郡の北部東小、次は旧蘇陽町の大野小、築山小、鍋小、南関二小、高道小、横島小、もう一度鍋小、玉名教育事務所、宇城市の海東小、荒尾市教育委員会、そして南関中と12の職場を回らせていただきました。それぞれの場所で出会いがあり、うれしいこと・悲しいこと、楽しいこと・つらいことたくさんの経験をしました。今思えば、全てひっくるめてよき思い出となっています。

2年前、南関中にお世話になることになりました。自分の地元であり、我が子がお世話になった学校で教育に携われる喜びと責任の重さを感じながら、南関中の門をくぐりました。始業式の朝、交通指導に立っていると通りかかった女子生徒が「おはようございます。」と爽やかなあいさつをしてくれました。まだ生徒たちと対面する前の出来事です。中学校は最初で最後の勤務です。正直不安がありました。しかし、この朝の出来事で「南関中の生徒たちと頑張っていこう。」と強く思いました。

この2年間は、新型コロナウイルスの影響で生徒たちにはつらい思いをさせてきました。中でも体育大会の延期は大変なものでした。ただ、それを乗り越えて頑張った生徒たちの姿は、強烈に私の心に残っています。生徒のみなさんは、その他にもたくさんの感動を与えてくれました。ありがとう。保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今日の論語

子曰わく、
「止むは吾が止むなり、進むは吾が往くなり。」と。

先生は言われた、「やめたのは自分であり、進んだのも自分である。最後に決めるのは自分である。」と。物事をやろうとしたら、成功しても失敗したとしても、全てのことにおいて自分で考えて、自分で行動しなければなりません。自分のことですから。ただ、人に相談することはできません。